



# 大人が絵本を

## 第67回 大人のための絵本をどうぞ!



司書・読書アドバイザー 安藤 宣子\*

小児歯科医師 濱野 良彦\*\*

\* 絵本と図鑑の親子ライブラリー BibliOキッズ(福岡市)  
\*\* 医療法人元気が湧く 理事ファウンダー

### やっぱり、分かち合いたいエピソード

「ねえ、あたしたち、付き合おうよ!」そう言われたとき、嬉しさはあったが、それ以上に困惑があった。当時の私は派遣社員で、数ヶ月ごとに工場を転々としていた。恋人ができるのは嬉しいが、派遣の仕事の転々とする綱渡りのような生活では、迷惑をかけるだけかもしれない。そう思って、「俺、派遣社員で、工場を転々としている身だから、キミが不幸になるだけだと思う」と正直に言ってお断りした。

一週間後、彼女から電話があった。渡したいものがあるという。喫茶店で会うと、彼女は一冊の絵本を渡してきた。『ぐるんぱのようちえん』。ほっぺの赤い、象が表紙に描かれている。「今、読んでみて」そう言われたので、その場で読んだ。

象のぐるんぱは、一生懸命働いているものの、どこの職場もつとまらずクビになってしまう。だが捨てる神があれば拾う神がある。子だくさんのお母さんに頼まれて、幼稚園を開き、大成功する。読み終わると、彼女が言った。「象のぐるんぱは、職を転々としているけれど、どこの職場でも決して手を抜かなかった。結果としてクビにはなっているけど、自分なりに一生懸命やっている。その姿勢さえあれば、いずれは自分にあった場所が見つかると思うの」

そして、彼女は続けた。「あたしは、あなたが一生懸命、自分なりに頑張っていることを知っている。ぐるんぱもあなたも同じ。ちょこっとだけ不器用で遠回りしているだけ。それを信じているの。」—非正規でも頑張っていることを認めてくれる人がいて、本当に嬉しかった。『ぐるんぱのようちえん』

ん』をくれた彼女は、今は私の妻になっている。

### 「絵本の日」アワード in FUKUOKA 2019

笑顔賞受賞者……大西 賢 様(東京都)

### 時流に乗っていくロングセラー絵本の魅力

大西様ご夫妻を幸せに導いたのは、女性側の機転の利いた行動でしたが、そのアイテムが絵本であったことで、普段子どもたちには見せることのない側面の力が、ここぞとばかりに湧き出したのです。大西様ご夫妻の婚約指輪にも匹敵する『ぐるんぱのようちえん』は、令和2年の今月5月、55歳になります。

『ぐるんぱのようちえん』

西内ミナミ 作

堀内誠一 絵

(福音館書店)



福音館書店の月刊絵本「こどものとも」1965(昭和40)年5月号初出の超ロングセラー絵本は、55年前の子どもたちに始まり、高度経済成長期、バブル期とその崩壊後、そしてIT時代へと変遷してきた半世紀以上のめまぐるしい時代に生まれた子どもたちみんなが愛し続けている人気者のゾウのお話です。BibliOキッズ館内の「絵本の日アワード2019」コーナーで“ぐるんぱ”を発見した子どもたちは、「これ幼稚園にあるよ!」「ぐるんぱ持ってる~」「読んだことあるよ!」と勇んで教えてくれます。アワードコーナーだけで、子どもたちとのコミュニケーションが生まれ、子どもも大人もみんなが笑顔になれるのです。

子どもたちによる押しも押されもせぬ人気を受けて増刷を重ねた“ぐるんぱ”は、55年もの時代の大きな変化の中で累計234万部を突破し、いつしか大人向けの

# 手にするときは！

## 「キャリア形成自律」

企画 濱野 良彦

構成 木須 信生 ※※※

※※※ 絵本と図鑑の親子ライブラリー ビブリオキッズ(福岡市)

キャリア論としても脚光を浴びるようになりました。

### 「ぐるんぱ」の時代にみる就労環境

『ぐるんぱのようちえん』が1966年に単行本として生まれ変わってから25周年の節目は、バブル崩壊と年を合わせることになりました。そのバブル経済の崩壊後やIT不況期に高校や大学を卒業した氷河期世代は、非正規労働者が約50万人とされる他にも、長期無業や引きこもりの大人が約50万人いると報告されています。このような時代にあって政府は、30歳代半ばから40歳代半ばにかけての「就職氷河期世代」への支援に着手し、2019年度は1,000億円超の予算を付け、2020年度には前年度当初予算比28%増の1,344億円を概算要求に盛り込みました<sup>1)</sup>。

要するに、“ぐるんぱ”が子どもたちに愛され続けてきた55年の間で、大人の就労環境は生きづらさを伴うほどに激変してしまったということです。エピソードを寄稿して下さった大西様のように、時代の流れによって混迷している人々があふれ、長期化してしまっている問題に、やっと国が対策に乗り出したというわけです。就労支援には、日本的な職業訓練や職業斡旋も大切ですが、キャリア・カウンセリングも重要となります。

### キャリア形成論だって、絵本から

大西様の価値観に変容を与えた『ぐるんぱのようちえん』は、見事なまでにキャリア形成論を内在しているのです。スタンフォード大学教育学・心理学のジョン・クランボルツ教授が、キャリア・カウンセリングの目標を「現在、クライアントが持っている興味・価値・能力にマッチした職業を見つけてあげるのではなく、変化し続ける仕事環境におい

て満足のいく人生を作り出していけるようにスキル・興味・信念・価値・職業習慣・個人特性に関する学習を促進させること」とした理論こそが“ぐるんぱ”なのです<sup>2,3)</sup>。

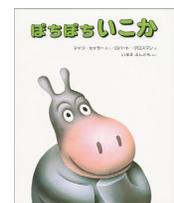
また、同教授はビジネスマン数百人を対象に行った調査の結果、「キャリア形成のきっかけは、80%が『偶然』である」ことを明らかにして、「計画された偶発性理論」、すなわち「ブランド・ハプスタンス理論」を1999年に提唱しました<sup>4)</sup>。そのあり方として、「『偶然』をただ待つだけでなく自ら作り出せるように計画を立てて積極的に行動し、失敗をしても、学び続けることでチャンスと呼びこむ」とした幸運を引き寄せる生き方を提示しているのです。米国発祥のキャリア形成に関する理論の図を、発表から遡ること30年以上前の高度経済成長ただ中の日本で誕生した絵本に見ることができるのです。

### 絵本の日アワードが繋げた絵本と絵本

『ぐるんぱのようちえん』の大きなテーマである「居場所づくり」もまた、社会の時流が追いかけてきたかのように、2000年代になって社会性を照らした絵本となりました。

“ぐるんぱ”と似た経験をする“かばくん”を覚えていらっしゃいますか。様々な仕事にチャレンジしながらも失敗を繰り返すお話『ぼちぼちいこか』は、「絵本の日アワード2018」において“元気が湧く賞”に輝いたエピソードをもつ絵本です。

『ぼちぼちいこか』  
マイク・セイラー作  
ロバート・グロスマン絵  
今江祥智 訳  
(偕成社)





“ぐるんば”と“かばくん”を見比べてみて下さい。どことなく似ていると思いませんか。英語の原書絵本を『ほちほちいこか』と関西弁訳した今江祥智氏は、「かばという動物は顔つきから動作まで、どことなく、のんびり、おっとりしていて、にくめません<sup>5)</sup>と述べていますが、この表現はゾウも同じです。重量級の動物を擬人化したキャラクター設定が、トライ&エラーを繰り返す登場人(動)物に対する読者心理に働きかけ、一層の効果を与えているのです。

“かばくん”は13種類の職業に失敗しても萎えることなく、「ええこと思いつくまで、ちょっとひと休み。ま、ほちほちいこかということや<sup>5)</sup>と、ただひと休みするのですから、こののんびりおっとりが読む者たちを「いつかはきっと、うまくいくよ」と暗示させ、不思議と「ゆっくり考えよう」と思えるのです。

### 子どもだけでは終わらせられない社会観

“かばくん”は、ブランド・ハプンスタンス・セオリーが持つひとつの因子である「楽観性」によって、最悪の状況にあっても、なお心を開くことで、新しい自分のキャリアの地平を切り開くことができるというメッセージを持ち合わせています。ここでの「楽観性」とは、「意に染まない異動や逆境なども、自分が成長する機会になるかもしれないとポジティブにとらえることでキャリアを広げられる<sup>3)</sup>とされており、逆境をネガティブに捉えず、その状況が自分に与えてくれるポジティブな側面を考える思考の持ち方を、まさに明るく示しているのです。

ミスマッチの連続の後に居場所を見つけたところでハッピーエンドの“ぐるんば”とは結末を異にする『ほちほちいこか』ですが、“かばくん”が自ら開くであろう到着点に期待すら膨らみます。読んでいる者が、決してフラストレーションを感じることはない心地の良いエンディングです。

では、5因子から構成されるハプンスタンス・セオリーから“ぐるんば”を見てみると、「リスク・テ

イキング」という因子によって“いい偶然”に恵まれたことが伺えます。「未知なことへのチャレンジには、失敗やうまくいかないことが起きるのは当たり前で、積極的にリスクをとることでチャンスを得られた」とするキャリア形成論が『ぐるんばのようちえん』に見られるのです<sup>6)</sup>。失敗という経験があっても、その努力はいつか自分の糧となることを、“ぐるんば”が子どもと大人に向けて穏やかな目で語りかけてきます。

もちろん、子ども目線の“ぐるんば”には、ハプンスタンスなど関係ありません。しかし、この思考こそ、生きる力となるもので、「ぐるんば」を読んだ子どもも大人も「失敗したって、それが後々チャンスになるんだ」と前向きに立ち向かう力を与えられるのです。

### キャリアは偶発的に生成されるもの

ハプンスタンスの残る3因子「好奇心」「粘り強さ」「柔軟性」は、キャリアのある読者の皆様方ならば納得の因子でしょう。ハプンスタンス理論を内包する日本生まれの絵本は、まだまだあります。動物の擬人化は絵本の世界では慣例ですが、次に紹介する絵本は、味付けソースが擬人化された一品になります。なんともシュールな、ケチャップのチューブ容器の形をした人物が主人公の『ケチャップマン』です。

『ケチャップマン』  
鈴木のりたけ 作  
(偕成社)



この表紙絵を見ただけで笑いがこみ上げてくるでしょう。イラストとストーリーに大笑いして、ナンセンス絵本として終わらせても良いのですが、その裏に潜んだテーマは、大人をうならせるほど大きなものがあります。それは、まるでハプンスタンス理論を縮図化したようなお話となっているのですから。

自分のアイデンティティに自信のあるケチャップ

マンでしたが、そのケチャップの味には見向きもされず、人手不足との理由で、フライドポテト専門店アルバイトとして雇われることになって、思いあぐねる日々の中、「偶然」が起こるのです。すなわち、「ありがたい姿」である未来を先に決めて計画を立てる従来の「バックキャスト型」キャリア戦略をもっていたケチャップマンでしたが、「結果がわからないときでも行動を起こして新しいチャンスを切り開いて、偶然の出来事を活用する」というハプスタンス理論を体現しているのです<sup>7)</sup>。

## 恐るべしは、絵本作家です

「天職」や「居場所」をテーマにはらむ『ケチャップマン』の作者・鈴木のりたけ氏は、「しごとば」シリーズで一躍その名を世に知らしめましたが、実はこの『ケチャップマン』が絵本作家デビュー作になります。

2008年初版の本書は、しばらく絶版で、業界では幻のデビュー作とも言われていたところ、時代がこの絵本のテーマに追いついたとも言えるかのごとく2015年に復刊され、たちまち大人向け「お仕事絵本」として注目を集めました。

出版ストーリーは、これだけに留まりません。本書の着想を始めた2006年頃の作者は、広告制作会社でグラフィック・デザイナーとして勤務していたときで、キャリア・アイデンティティ・クライシスに陥り、「これが本当に天職なのか」と悩みを抱えていたと明かしています<sup>8)</sup>。鈴木氏のこのひと言に、絵本作家の原点を見て取ることができるのです。

鈴木氏が悩んだ「天職」とは、「本来、自己を内省的に振り返ることで見出すものではなく、人生のあるときに思いもかけぬ形で他者から与えられるものではないか<sup>9)</sup>」とする山口周氏の論考が『ケチャップマン』であって、絵本作家「鈴木のりたけ」のキャリアなのです。鈴木氏には、もっと驚かされます。デザイナーの前職はJR東海職員で、新幹線運転士などの経歴も持つのですから、氏の作品に一層の深みを感じ

ることができるでしょう。

## キャリア・アンカーに着目してみると…

クランボルツ教授の理論はよく分かりますが、「正解を選ぼうとするのではなく、選んだ道を正解にしていく」なんて運命論的でもありますので、別の理論にも重ねてみましょう。

シャイン氏は、組織と個人の関係からキャリアを考え、「キャリア・アンカー」を提唱しています。それは、キャリアに関する自己イメージをさし、「能力(できること)」「欲求(やりたいこと)」「価値観(やるべきこと)」と3つある側面が、キャリアスタート時にはあいまいで、キャリアを積むプロセスで個人の内面で無意識に固まってくるとし、キャリアを方向付ける重要な役割を果たすものとなっていくと論じています<sup>10)</sup>。

つまり、20歳代は自分のキャリア・アンカーを育てていくプロセスでいろいろな仕事にチャレンジし、成功や失敗の試行錯誤を重ねながら形成されていくという理論が、「ぐるんぱ」にも「かばくん」にも、そして、「ケチャップマン」にも見事に当てはまり、大人の読者たちをますます納得させてくれるのです。

「大人のための絵本」を実証するキャリア絵本のお話でした。

## 文献

- 1) 日刊工業新聞社：中年ニート「社会進出のラストチャンス」、ニュースイッチ HP <https://newsitch.jp> 2019/11/10
- 2) J.D.クランボルツ, A.S.レヴィン著, 花田光世, 他訳：その幸運は偶然ではないんです!, ダイアモンド社, 東京, pp.31-89, 2005.
- 3) 山口 周：仕事選びのアートとサイエンス；不確実な時代の天職探し(光文社新書), 光文社, 東京, pp.128-173, 2019.
- 4) 同上2) J.D.クランボルツ：pp.128-173.
- 5) マイク＝セイラー作, ロバート・グロスマン絵, 今江祥智, 訳：ほちほちいこか, 偕成社, 2016.
- 6) 同上2) J.D.クランボルツ：pp.91-120.
- 7) 同上2) J.D.クランボルツ：pp.1-4.
- 8) ブロンズ新社：絵本『ケチャップマン』発売記念, 鈴木のりたけさん特別インタビュー, Hatena Blog (ブロンズ新社公式ブログ) HP <https://staffroom.hatenablog.com> 2015/11/24
- 9) 同上3) 山口 周：pp.7-14.
- 10) エドガー・H.シャイン著, 金井寿宏, 訳：キャリア・アンカー, 白桃書房, 東京, pp.93-103, 2003.

\* 本稿執筆に当たりまして、キャリアコンサルティング技能士(ハローワークOB)にご協力いただきました。